

# 社労士法人大竹事務所通信

2022年10月(Vol.185)

〒541-0046

大阪市中央区平野町 2-5-14 FUKU BLD.三休橋 301

電話：06-6147-4763 FAX：06-6147-4795

URL: <http://osaka-otake.com/>

## 10月から始まる社会保険適用拡大への対応はお済みですか？

### ◆従業員数 101 人以上の会社のパート・アルバイトが厚生年金・健康保険の加入対象に

加入対象は、(1)週所定労働時間 20 時間以上、(2)月額賃金 8.8 万円以上、(3)2 カ月超雇用見込みがある、(4)学生ではない、の4つに該当する従業員ですが、手取り収入への影響から、働き方を変える人が出てくると考えられます。例えば、加入希望の人がシフトを増やして手取り減を回避したいと言ったり、扶養を外れたくない人がシフトを減らしたいと言ったりするかもしれません。

会社の保険料負担や発生する手続きも気になりますが、従業員が働き方を変えるとシフト編成等に影響が生じる可能性もあります。従業員へのヒアリング等を行い、支障が出ないように準備しましょう。

### ◆短期パートの適用漏れに注意

上記要件のうち、(3)は当初契約の雇用期間が2カ月以内でも、契約更新等されると、当初から社会保険に加入となります。これまでの「1年超」との要件が撤廃されるため、特に適用漏れに注意が必要です。

年金事務所による調査で適用漏れは厳しくチェックされ、万が一があると保険料の遡及払いが発生し、従業員負担分も含めていったん会社が立て替えざるを得なくなったりします。適正に手続きがされているか、チェックしておくといよいでしょう。

### ◆雇用保険料率も 10 月から引上げ

従業員数 100 人未満の会社も、雇用保険料率の引上げによる影響があります。一般の事業で事業主分が 1,000 分の 6.5 から 8.5 に、労働者分が 1,000 分の 3 から 1,000 分の 5 に引き上げられます。



特に労働者分は平成 29 年度以降据え置かれていたため、若い従業員には率が変わるものと認識していない人もいるかもしれません。10 月分の給与明細と一緒に、保険料率の変更を案内してあげるのも良いかもしれません。

【日本年金機構「令和4年 10 月から短時間労働者の適用拡大・育休免除の見直し等が行われます」】

<https://www.nenkin.go.jp/oshirase/topics/2022/0729.html>

【厚生労働省「令和4年度雇用保険料率のご案内」】

<https://www.mhlw.go.jp/content/000921550.pdf>

## 「インボイス制度」への対応

2023 年 10 月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）が始まります。

インボイス制度では、事前に登録した事業者のみが適格請求書（インボイス）を発行できます。売主は買主から要求されるとインボイスの交付が必要になり、その写しを保存する義務があります。買主は交付されたインボイスを保存しておき、仕入税額控除の申請に活用します。

東京商工リサーチは8月1日～9日に、「インボイス制度」についての企業向けアンケート調査を実施しました。

## ◆「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」についてご存じですか？

インボイス制度を「知らない」と回答した企業は7.5%（6,441社中、483社）にとどまり、「よく知っている」19.5%（1,257社）、「大体知っている」49.0%（3,158社）、「少し知っている」23.9%（1,543社）を合わせた「知っている」は92.5%に達しました。

規模別では、「知らない」は、大企業が6.2%（988社中、62社）、中小企業が7.7%（5,453社中、421社）で、規模を問わずインボイス制度の認識は広がっています。

## ◆インボイス制度導入後、免税事業者との取引はどのような方針ですか？

インボイス制度の導入後、免税事業者との取引について、「これまで通り」が41.2%（5,292社中2,181社）と4割超を占めました。一方、「免税事業者とは取引しない」は9.8%（523社）、「取引価格を引き下げる」は2.1%（115社）と、1割強（11.9%）が取引中止や取引価格の引下げ意向を示しています。

また、「検討中」は46.7%（2,473社）と、まだ半数近くは取引方針を迷っており、免税事業者への悪影響が広がる可能性もあります。

【東京商工リサーチ調査結果】

[https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220820\\_02.html](https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220820_02.html)

## 賃金不払残業と解消のための取組事例

### ◆企業の賃金不払い

賃金の不払いは、労働者の生活に直結する大きい問題であることから、最も労働基準監督署（労基署）に相談が寄せられやすいものの一つです。「残業時間に対して給与が支払われない」という情報をもとに、労基署から企業に監督指導が実施されるケースは多く、不適切な管理をしている企業は、このような監督指導によって対応を迫られることとなります。

### ◆1企業当たりの遡及支払の平均額は609万円

厚生労働省は、労基署の監督指導により、令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）に不払いとなっていた割増賃金が支払われたもののうち、支払額が1企

業で合計100万円以上である事案をまとめて公表しています。それによれば、1,069企業（前年度比7企業の増）が100万円以上の割増賃金を遡及支払しています。また、1企業当たりの支払われた割増賃金額の平均額は609万円、1,000万円以上の割増賃金を支払ったのは115企業となっています。

### ◆賃金不払残業の解消のための取組事例

本取りまとめでは、あわせて賃金不払残業解消のための取組事例も紹介しており、以下のようなものが挙がっています。

◎各施設の管理者を対象とした労働時間の適正な管理に関する研修会を実施。

◎適正な労働時間管理に関することを人事評価の項目として新しく設けることや管理者が労働者に労働時間を正しく記録することについて継続的に指導を実施。

◎管理者が月に2回パソコンの使用記録と勤怠記録の確認を行い、2つの記録に乖離がある場合については、労働者に乖離の理由を確認。

残業時間を過少申告する風潮があることが原因となっている企業は少なくないようです。改めて自社の実態を点検してみてもいいでしょうか。

【厚生労働省「監督指導による賃金不払残業の是正結果（令和3年度）」】

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_27591.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27591.html)

## 最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援事業

### ◆令和4年度の地域別最低賃金が改定に

令和4年10月より最低賃金が改定されます（地域により、発効日は異なる）。47都道府県で30円～33円の引上げ（全国加重平均額31円の引上げ）となります。改定後の全国加重平均額は961円（昨年度は930円）で、最高額は1,072円、最低額は853円となります。

厚生労働省と経済産業省は連携して、最低賃金の引上げにより影響を受ける中小企業に対する支援を実施していますので、以下でご紹介します。

### ◆専門家派遣・相談等支援事業（ワン・ストップ&無料の相談・支援体制を整備）

各都道府県にある働き方改革推進支援センターに配置している専門家が、無料で事業主からの労務管理上の悩みを聞き、アドバイスを行っています。

### ◆業務改善助成金

生産性向上のための設備投資などを行い、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）を一定額以上引き上げた中小企業・小規模事業者に対して、その設備投資などにかかった経費の一部を助成します。

### ◆働き方改革推進支援助成金（業種別団体の賃金底上げのための取組みを支援）

中小企業事業主の団体やその連合団体である事業主団体等が、その傘下の事業主のうち、労働者を雇用する事業主の労働者の労働条件の改善のために、時間外労働の削減や賃金引上げに向けた取組みを実施した場合に、その事業主団体等に対して助成します。

### ◆その他の支援

その他、日本政策金融公庫では、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げに取り組む中小企業・小規模事業者に対して、設備資金や運転資金を低金利で融資しています（企業活力強化貸付（働き方改革推進支援資金））。

【厚生労働省「最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援事業」】

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/zigyonushi/shienjigyou/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zigyonushi/shienjigyou/index.html)

※恐れ入りますが URL をコピーしてご利用ください。

## 10月の労務と税務の手続 [提出先・納付先]

### 11日

- 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付  
[郵便局または銀行]
- 雇用保険被保険者資格取得届の提出  
＜前月以降に採用した労働者がいる場合＞  
[公共職業安定所]

### 31日

- 個人の道府県民税・市町村民税の納付  
＜第3期分＞ [郵便局または銀行]
- 労働者死傷病報告の提出＜休業4日未満、7月～9月分＞ [労働基準監督署]
- 健保・厚年保険料の納付 [郵便局または銀行]
- 健康保険印紙受払等報告書の提出 [年金事務所]
- 労働保険料の納付＜延納第2期分＞  
[郵便局または銀行]
- 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出 [公共職業安定所]
- 外国人雇用状況の届出（雇用保険の被保険者でない場合）＜雇入れ・離職の翌月末日＞  
[公共職業安定所]

## ～編集後記～

朝晩がずいぶん過ごしやすくなりましたね。

9月は連休を狙ったように台風がやってきて、せっかくのシルバーウィークも雨ばかりでした。大雨等で被害が出た地域のことにも心配です。まだまだ台風シーズンが続きますので、しっかりと備えをお願いします。

今月も最後までお読みくださり、ありがとうございました。（R.O）



## スタッフブログより

### 【日本酒発祥の地】

「日本酒（清酒）」の発祥はどこかご存知でしょうか？

正解は「奈良県」です。

奈良公園から4~5km程南東にある「菩提山正暦寺」というところから始まりました。

室町時代に、大きなお寺が経営難となってきました。そこで、お金を稼ぐ手段として、「酒造り」が始まった様です。

なぜお寺で出来たか？

- ①広い土地でお米があった。
- ②多くの人を集めることができた。
- ③綺麗な水があった。

そこで造ったお酒を、貴族に売って稼いでいたそうです。

お酒は冬の寒い時期に仕込んで、というイメージですが、この当時は貴族のお月見に間に合わせるため「夏仕込み」だったそうです。

この様に、お寺の経営に資するお酒を「僧坊酒」といいます。「僧坊酒」は他にも、河内長野の「天野酒」なども有名です。

かの織田信長も、安土城に徳川家康を招いて、正暦寺のお酒を振る舞っていたそうです。昨年（2021年）、途絶えていた「正暦寺のお酒＝『菩提泉』」が500年ぶりに復活販売されたそうです。

1本15,000円ですが、是非とも味わってみたいものです。 おおたけ（2022-9-26）

### 【泊りがけの旅行】

きっかけは、娘からのこんな一言でした。

「パパ、アンパンマンミュージアムに、つれていってください。」（実際にはもう少したどしく話しています。それがまた可愛いのですが。）

このおねだりを聞いたのが「9月8日（木）」で、翌週「9月17日（土）」に出発というプランで検討を開始しました。

神戸に最寄りのミュージアムがあるのですが、こちらは以前に行ったことがあります。

そこで、今回は名古屋（実際には三重県桑名市にあります。）のミュージアムに行くことにしました。

「日帰りか泊りがけか」「泊りがけならもう1日はどう過ごすか」「泊まるならどこに・・・」など、考えることがたくさん出てきます。

妻と一つ一つ話をして、ミュージアムのチケットや宿泊場所の予約は決まり次第すぐ申し込み。

そうやって何とか出かけられる準備を整えました。

事前の準備もさることながら、当日は当日で色々な事が起きます。車では初めて行く場所なので、勝手も分からず道を間違えそうになったり、ホテルの最寄りのパーキングが思っていたより遠かったり。。

（妻の祖母が名古屋市内にいらっしゃるのですが、直前まで迷っていた訪問が急遽決まったり。）

帰りも高速道路を降りて地元まで帰ってきたと思ったら、家とは逆方向に走ってしまっていたり（汗）。

そんな中で、「想定すること」の大切さを改めて実感しました。

そしてこれは、仕事でお客様のところへ訪問する際にも同じことだと思います。「いつ出るか」「どのルートで行くか」「途中事故などあった時はどのルートに変えるか」といったことをきちんと把握しておくことで不安が少なくなります。

結果気持ちに少しでもゆとりができると、周りのことがよく見えたり聞こえたりするので、新しい事や面白い事が発見できたりします。（そしてこれが、お客様のところでお話する内容になったりもします。）

私はルートや時間、最寄り駅等から会社様までの距離などある程度は把握してから行くようにはしていますが、まだまだできることがあるなと思いました。

改めて色々なことを「想定しながら」確認することにしちます。 にしぐち（2022-9-27）

**【資格を取得致しました】**

私事ですが、この度「キャリアコンサルタント」という資格を取得致しました。

たまたま少人数制の講義の場面で、複数名のキャリアコンサルタントの方に出会ったことが取得しようと思ったきっかけです。

これは私にとって「縁」だったんだと思います。

今はこの資格を取って終わりではなく、どの様に今の仕事を広げていけるのか考えている、正にスタートラインです。

今日はあるお客様と電話でお話をしていたのですが、せっかくウチに来てもらったのに、一日どころかその日のお昼休みに出かけて帰って来なかった…、ということでした。

私はその場でお話を聴くことしか出来なかったのですが、会社とご本人はどう思ったのか、次からどうすれば良いのかと考えを巡らせました。

日頃は会社側のお話を伺うことが多いのですが、今後は従業員さんのお話も聴ける機会が増えたら良いなあと、ざっくりと考えております。

例えば、若手社員の方や入社したばかりの方で、思い描いている自分と仕事（社会）とのギャップに悩んでいる等、です。

会社を辞めようと早々に決断する前に、私にお話が聴けるのではと、近い将来に対してイメージを膨らませていっています^^ おぎの（2022-9-27）